

令和元年度 第1回 豊岡市子ども・子育て会議要約版（議事要点録）

- 日時 令和元年6月6日（木） 13時30分～16時00分
- 場所 豊岡市役所本庁舎 3階 庁議室
- 出席者（委員） 横川会長、大木本副会長、中村委員、渡辺委員、大田委員、中嶋委員、阪根委員、石野委員、上崎委員、與田委員、西垣委員、間委員、久保川委員（代理出席：三上委員）
- （事務局） 堂垣次長、木下課長、山本参事、川端参事、山根参事、富岡参事、恵後原主幹、福富SSW（スクールソーシャルワーカー）、吉谷主幹、谷垣主幹、吉田係長、吉谷主事、（株）関西計画技術研究所 大内、吉田）
- 欠席者（委員） 小山委員、神尾委員、松原委員、西村委員、今井委員
- 会議次第
- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 新委員の任命（辞令交付）
  - 4 委員紹介 資料1
  - 5 議 事
    - (1) 報告事項
      - ア 教育・保育の利用状況等について 資料2-1～5
      - イ 放課後児童クラブの利用状況等について 資料2-6
      - ウ 地域子ども・子育て支援事業について 資料3
      - エ 子ども・子育て支援事業計画のH30実施状況と評価について 資料4
    - (2) 協議事項
      - ア 第2期子ども・子育て支援事業計画について
        - (ア) アンケート調査結果に基づく量の見込み量について 資料5
        - (イ) 計画策定の趣旨と現状について 資料6
        - (ウ) 基本理念・目標、施策体系について 資料7
  - 6 その他
    - (1) 第3&4回豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方検討部会の検討状況について 資料8～11
    - (2) 次回の会議日程について
    - (3) その他
  - 7 閉 会

配布資料

資料1	豊岡市子ども・子育て会議委員名簿	
資料2-1	平成27～31年度の児童数（実績値と計画値）	
資料2-2	平成31年度 幼稚園・保育所・認定こども園の開設・入所・待機児童の状況	
資料2-3	教育・保育に関する量の見込みと就園実績	
資料2-4①	保育所初日在籍入所児童数一覧表（H31. 3. 1現在）	
資料2-4②	保育所初日在籍入所児童数一覧表（R元. 5. 1現在）	
資料2-5	幼稚園別園児数（H30. 5. 1 & R元. 5. 1現在）	
資料2-6	放課後児童クラブの量の見込みと確保状況	
資料3	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保状況	
資料4	豊岡市子ども・子育て支援事業計画 平成30年度実施状況と評価	
資料5	需要量の算出について	
資料6	計画の策定にあたって	
資料7	施策の体系	
資料8	「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方についての答申(案)」の基本的方向性のイメージ	
資料9	1. 人口推計・ニーズ量推計の方法	} ※当日配布
資料10	第3回検討部会の概要	
資料11	第4回検討部会（5月17日）の概要	

議事要点録

1	開会	開会の宣言（事務局）
2	会長あいさつ	会長あいさつ
3	新委員の任命	辞令交付
4	委員紹介	
5	議事（要点）	
	（1）報告事項	
	事務局	<p>ア 教育・保育の利用状況等について</p> <p>イ 放課後児童クラブの利用状況等について</p> <p>ウ 地域子ども・子育て支援事業について</p> <p>エ 子ども・子育て支援事業計画のH30 実施状況と評価について</p> <p>・・資料2-1～6、3、4</p>
	委員	<p>資料3「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保状況」の「(4) 乳幼児家庭全戸訪問事業」について、この実績として平成30年度は474人訪問したということになるのか。</p>
	事務局	<p>そのようになる。</p>
	会長	<p>これは、この年の生後4カ月までの乳児すべてということになるのか。</p>
	事務局	<p>対象家庭数は516と聞いている。</p>
	会長	<p>その時点の対象が516人いるうちの474人を訪問したということになるのか。全乳児を訪問するのが理想だと思うので、訪問しなかった家庭にどういったフォローをしたのかが大事なのではないか。</p>
	事務局	<p>この乳児家庭全戸訪問事業というのは、生後4カ月までのお子さんに民生委員、保健師、助産師が訪問するという事業であり、保健師が出生後の乳児に訪問をしている率は91.9%となっている。理由として、長い間里帰りをする場合に里帰り先で全戸訪問を受けると、こちらの実績としては挙がってこないということがある。また、民生委員の場合は遠慮されるケースや、少ない体重で生まれたお子さんの場合などは生後4カ月で退院されず、入院中で母親には会えても乳児には会えないという事情がある。</p> <p>平成29年度から子育て包括支援センターが立ち上がり、それまでの79.8%の実施率を引き上げている状況である。</p>
	会長	<p>里帰りなどによって実家の方で訪問事業を受けられていることは確認できているのか。</p>
	事務局	<p>乳幼児全戸訪問というかたちではなく、里帰り先の保健師が訪問に伺うが、乳幼児全戸訪問としては計上していない。乳幼児全戸訪問としては出会えていなくても、保健師、助産師は出会わせていただいている。</p>
	会長	<p>それは、このような資料には現れてこないのか。</p>
	事務局	<p>はい。</p>
	会長	<p>そこが大事であると思う。遠慮された方も含め、出会えないままの人が無いほうが良いので、そういったことがどこかで確認できる状況はここには出てこ</p>

ないのか。

事務局 子ども・子育て支援事業の中では確認できない状況である。何らかの注釈を付けるなど、工夫するということはこちらでもできるかと思う。

資料4の16、17ページにもう少し具体的な数字が出ており、妊婦は50.1%、新生児は92.8%となっているが、乳幼児全戸訪問として数字が挙がっていないと、皆に会えていないように見えてしまうということか。

会長 評価をする時に、これは子育て支援事業としての数値であるが、最終的にすべての家庭に目が届いているのかどうか、チェックをする基準になるのではないかと思う。

事務局 この制度の数の挙げ方はどこも同じだと思うが、他に何か挙げ方はあるか。

会長 どこもこのような形であると思う。

事務局 保健師のほうでもっと出会えている方もいるが、この制度が前に出てくるので「率が悪い」「出会えていない」という見え方になってしまう。

会長 そういう意味でいうと、この率自体は何の評価の指標にもならない。

事務局 率を載せるとこうなってしまうが、乳幼児全戸訪問事業のスクリーニングにより、次の支援訪問事業を行っていくということになっている。

委員 資料4の126番にある「豊岡市内遊び場マップ」というのは、「おでかけマップ」のことか。

事務局 はい。

委員 これは、ホームページ上ではなくて、ペーパーでつくられるものか。

事務局 そうである。ただ、残部が少なくなってきたことから、更新、増刷の必要性について検討を行うこととしており、それも含めて、形を変えるのか、構成を変えるのかというのは課題として検討していく必要があると考えている。

委員 次につくるとしたら、変わるということか。

事務局 はい。

委員 資料2-1について、その年の実績と翌年度と比較をすると、何も変化が無ければ、例えば平成30年度実績値の0歳児が、平成31年度の1歳児であると考えられる。ただこれを見ると、転出転入の要因が重なっているかと思うが、すべての年代においてかなり減っている。豊岡市は若い世代の転出が多いのか。何か分析されているのか。

事務局 分析まではしていない。

委員 若い世代の方が引っ越しをして市外に出られるというような要因があって差し引きで減になっているのか。子どもが少なくなって、出生率も下がってきてというのは分かるが、これは何らかの外的要因によるものだと思う。市としてはこれを防ぐ色んな施策に取り組んでいると思うが。

事務局 社会増減の関係だと思うが、市民課にそういった部分の把握などを行っているか確認をした。市民課は手続きをするだけなので、要因までは把握していないということであるが、職員の感覚としては、今までと大きく変わっているとは感じないということである。

委員	<p>地方における中核的な都市である豊岡市でさえも、地方においては転出が多いということか。むしろ、豊岡市に周りの市町村から入ってくるほうが多いのかなと思っていたが、実際には違うのかと改めて数字をみて思った。</p>
事務局	<p>年度によって違うということもあると思う。3ページの表をみると、平成27年度の実績のところ0歳児だった599人が次の平成28年度の実績では593人で、6人減少しているが、その後、その塊が平成29年度に2歳になると598人となり、また何人かが引っ越してこられたと考えられる。毎年増減があり規則性は感じられない。</p>
会長	<p>データをみると、平成31年度にかけて、特に0、1、2歳のところが減っている。このくらいの年齢のお子さんをお持ちの方がたくさん転出されたということであろう。</p>
事務局	<p>転出が今までどおりであったとしても、転入が少なかったということも考えられる。</p>
会長	<p>年齢が大きいところは、あまり増減がないか。</p>
事務局	<p>小学校に入ると、あまり移動されないのではないかと思う。</p>
会長	<p>若い方の移動があり、それがこの平成30年度から平成31年度にかけては、減るほうで数字が出ているようである。この年だけなのか、続くのか、またそういった情報を見ていただければと思う。</p>
事務局	<p>分析はなかなかできないが、こういったことも気にしながら原因の推察を試みたいと考えている。</p>
(2) 協議事項	
事務局	<p><b>ア 第2期子ども・子育て支援事業計画について</b>  <b>(ア) アンケート調査結果に基づく量の見込み量について</b>  <b>・・資料5について説明</b>  (質問等なし)  <b>(イ) 計画策定の趣旨と現状について、</b>  <b>(ウ) 基本理念・目標、施策体系について</b>  <b>・・資料6, 7について説明</b></p>
会長	<p>取組方針4については、生活困窮について豊岡市でもしっかりと取り組もうということで計画をつくっており、これをしっかりと出していくということであると思うが、何か今までにない新しい取り組みが始まるのか。</p>
事務局	<p>子どもの貧困に関することは、社会福祉課の担当になるが、これから全庁的な部会を立ち上げた中で、市として全体的に取り組んでいくための方向性や事業を検討していくというふうに聞いている。具体的なことはこれからかと思う。</p>
6 その他	<p>事務局 (1) 第3 &amp; 4回豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方検討部会の検討状況について  <b>※非公開</b></p>

<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>(2) 次回の会議日程について</p> <p>7月26日(金)13時30分～、本庁舎7F第3委員会室にて開催を口頭報告。一点確認させていただく。本日、あり方部会の方の報告とアンケート調査結果に基づく量の見込みのご報告があった。今後としては整合性を持って検討していくことが良いだろうということから、これらを一本化していくということでご了解いただけるか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>7 閉会</p>	<p>副会長あいさつ</p>